

三浦半島で確認されたヨシススキ (イネ科)

標 本

横須賀市鴨居, 20231209. 高橋徹男, YCM-V-71727
(第1図).

山本 薫*・高橋徹男**

生育状況

First confirmation of *Erianthus*
arundinaceus from the Miura Peninsula

Kaoru YAMAMOTO* and Tetsuo
TAKAHASHI**

今回発見したヨシススキは、人家近くの空き地に単体で生育し、群落は形成していなかった。ただし、発見地から約 800 m 離れた位置にも 5 個体の生育を確認した。

また、本個体の結実を確認することができなかった。単体で生育する株については結実が確認されていない例があり、これについては自家不和合性などの要因によって結実が阻害されている可能性が指摘されている(茨木ほか, 2015)。しかしながら、神奈川県内のヨシススキの分布の拡大が指摘されているため(大西, 2015)、今後三浦半島においても注意が必要である。

キーワード: 初記録, ヨシススキ, 分布, 三浦半島

Key words: **First confirmation, *Erianthus arundinaceus*, distribution, Miura Peninsula**

ヨシススキ *Erianthus arundinaceus* (Retz.) Jeswiet (イネ科) は、アジアの熱帯から亜熱帯原産であり、近年は資源作物として国内に導入されたものの逸出によって日本各地に帰化している(茨木ほか, 2015)。神奈川県内ではこれまでに、大磯町、大和市、藤沢市、真鶴町に記録があり、その生育場所は道路沿いや市街地の空き地であることが報告されている(大西, 2015; 茨木ほか, 2015; 木場, 2018)。

著者の高橋は、2023年12月9日に横須賀市鴨居においてヨシススキと推定される個体を発見・採集し、その後横須賀市自然・人文博物館にて同定を行った。同定は木場(2018)に従い、小穂基部の毛が小穂と等長であること、小穂外に芒は伸び出ないこと、花序は密に小穂をつけ、花序の中軸は外から見えないことを確認した。本個体は、三浦半島ならびに神奈川県東部において初記録となるヨシススキとして報告する。



第1図 ヨシススキ標本写真(2024年12月20日撮影).

* 横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台95

** 横須賀植物会

原稿受付 2023年12月20日 横須賀市博物館業績 第790号

Corresponding author: Kaoru YAMAMOTO, kaoru-yamamoto@city.yokosuka.kanagawa.jp

本種の同定と標本作製にご協力いただいた金子龍二氏，中山博子氏に感謝申し上げます。

引用文献

茨木 靖・大森威宏・勝山輝男・木下 覺・久米 修・木場英久・齋藤政美・野津貴章 2015. 日本国内におけるヨシススキ *Erianthus arundinaceus* (Retz.)

Jeswiet (イネ科) の分布と生育状況について．植物地理・分類, **62**: 85–92.

木場英久 2018. ムラサキオバナ属．神奈川県植物誌調査会編，神奈川県植物誌 2018 電子版：638–639. 神奈川県植物誌調査会，小田原．

大西 亘 2015. 分布を拡大するヨシススキ．*FROLA KANAGAWA*, **79**: 928–929.